



MSE65-52001

ラゲージLED

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ ラゲージLEDをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	適合車種	備考
MSE65-52001	シエンタ '25/8～	-

・ 最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp>

取り付け上の注意事項

- 警告** ■ 本製品は適合車種(12V仕様)以外の車には取り付けできません。

 - 本製品は用途以外の目的で使用しないでください。
 - 取り付け前に内装部品に傷がついていないか点検してください。
 - 取り付け作業中の車はエンジンを停止してください。
 - 警告** ■ 取り付け作業の前に必ずバッテリーの(-)端子をはずしてください。
また、(-)端子を(+)端子と接触しないようにしてください。

 - 本製品の取り付けには内装部品を取りはずし・取り付け作業を行います。
 - ・取りはずし作業で内装部品に傷がつかないように注意してください。
 - ・取りはずしに際して紛失や混乱が無いように整理してください。
 - ・復元の際に各部品の取り付けを間違えないように配慮してください。
 - 構成部品及び部品点数が取付要領書通りになっているか、不良部品の混在が無いか確認してください。
 - 警告** ■ 車両部品の脱着は、必ず車両修理書を参照してください。
また、本取付要領書で指示している部品以外は取りはずさないでください。
 - 警告** ■ コードの配線には十分注意してください。誤った配線をしますと故障の原因になります。
必ず取付要領書に従って配線を行ってください。
 - 警告** ■ コードを引っ張ったり、挟んだりしないでください。発熱や断線の原因になります。
 - 警告** ■ クッションの取り付け面に油脂分や汚れが付いていますと、脱落や剥がれの原因になりますので脱脂剤等で十分に拭き取り、使用される際は火気を近づけないよう充分注意してください。
- ▲ 上記注意事項の未読、注意不足による損害の責任は一切負いかねます。

保証について

本商品は、1年または20,000kmの保証を実施します。(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)
※保証の詳細はMODELLISTAカタログサイト(<https://www.modellista.co.jp>)の「保証について」をご覧ください。

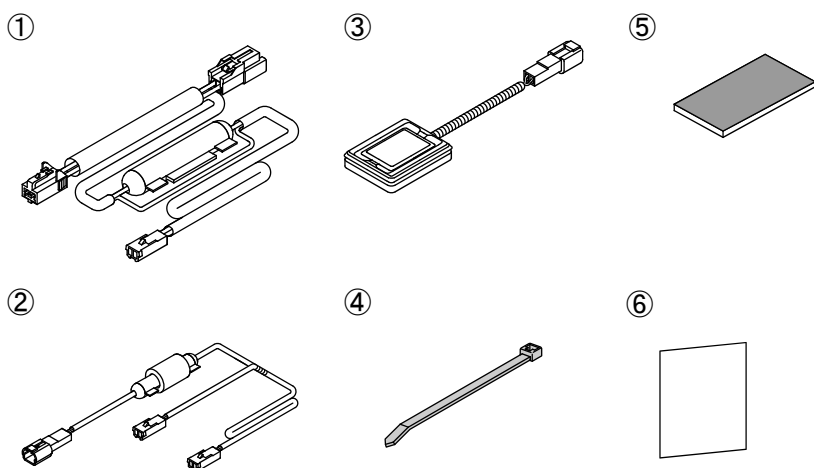
取り付け完了後の点検・注意事項

- バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、GTS 等のツールが必要な場合があります。
- 各システムの設定・確認を行ってください。
(車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定/作業」を参照)
- バックドア開閉時にラゲージLEDが正しく点灯/消灯しているかを点検してください。
- LEDの明るさ・色には多少のばらつきがあります。あらかじめご了承ください。
- 経年変化により、レンズ部が多少変色する場合があります。あらかじめご了承ください。

⚠ 注意 …注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどの恐れがあることを記載しております。

🔊 アドバイス …スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しております。

構成部品

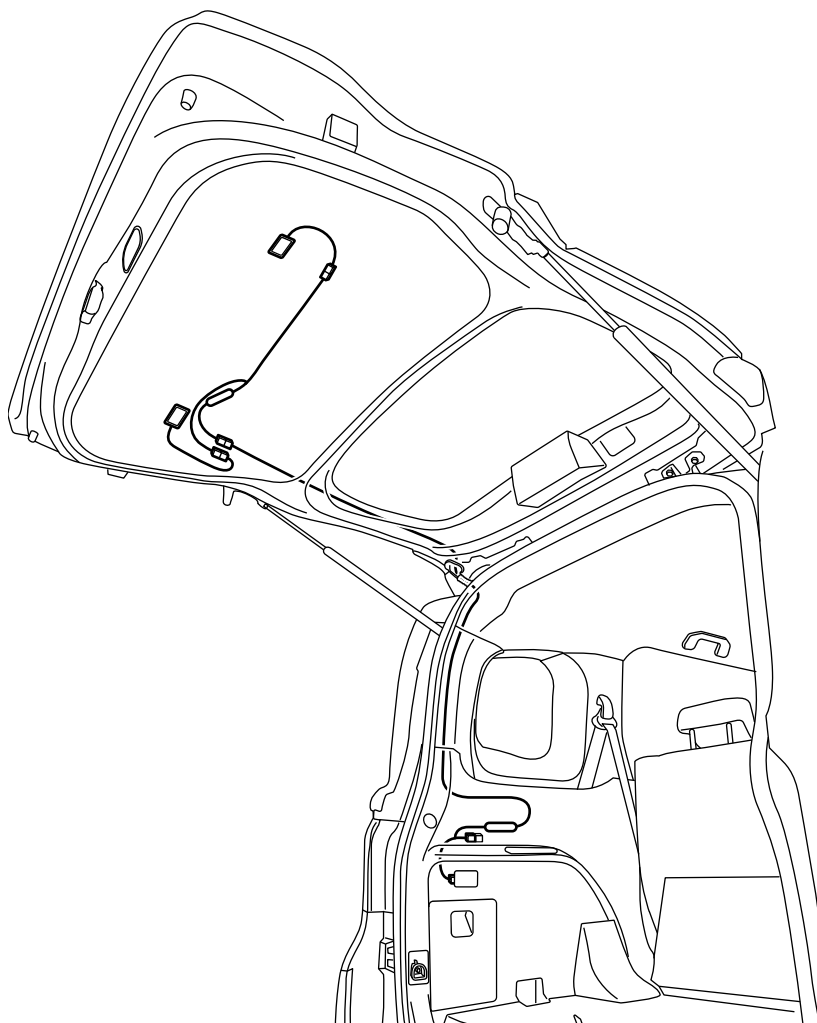


No.	品名	個数
①	ハーネスNo.1	1
②	ハーネスNo.2	1
③	ランプユニット	2
④	結束バンド	16
⑤	クッション	2
⑥	型紙	1

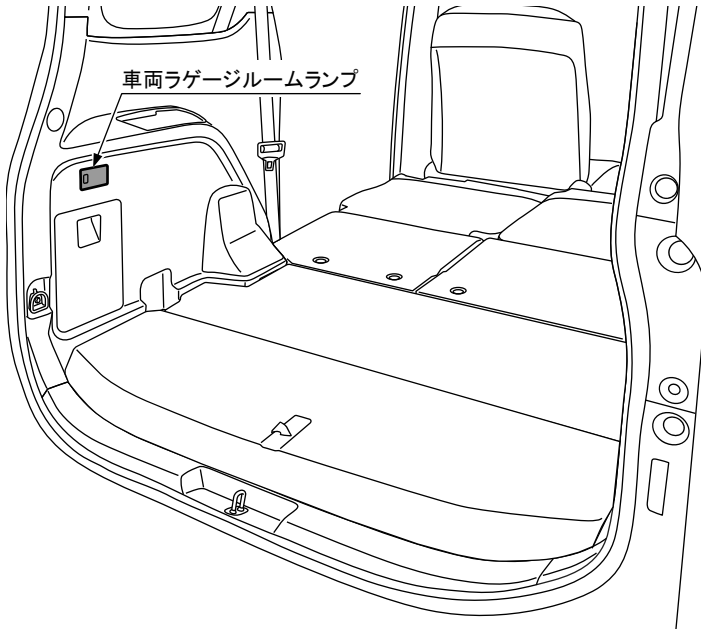
取り付けに必要な工具等

一般工具、トルクレンチ、マスキングテープ、ビニールテープ、ウエス、画鋸、ハサミ、ニッパー、カッター、ケブラ手袋、クリップリムーバー、モールディングリムーバー、保護メガネ、脱脂剤等

取り付け概要



取り付け手順



●点灯確認

Ⓜアドバイス

- ・車両部品の脱着は、車両修理書を参照してください。
- ・左図は2列シート車を示していますが、3列シート車、ウェルキャブ車も同様に作業を行ってください。

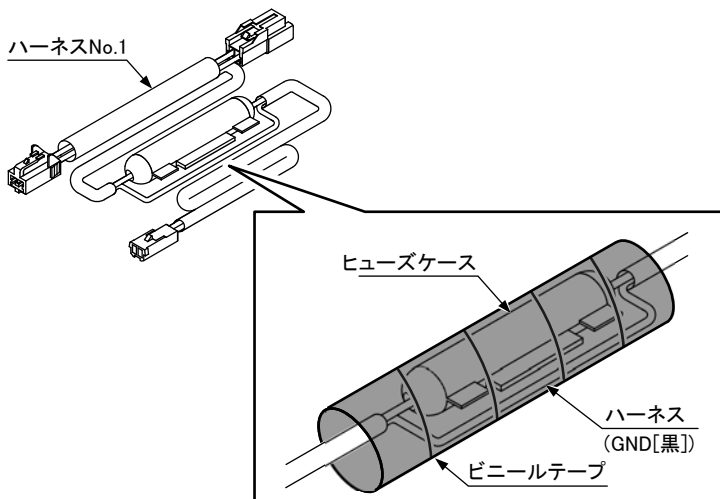
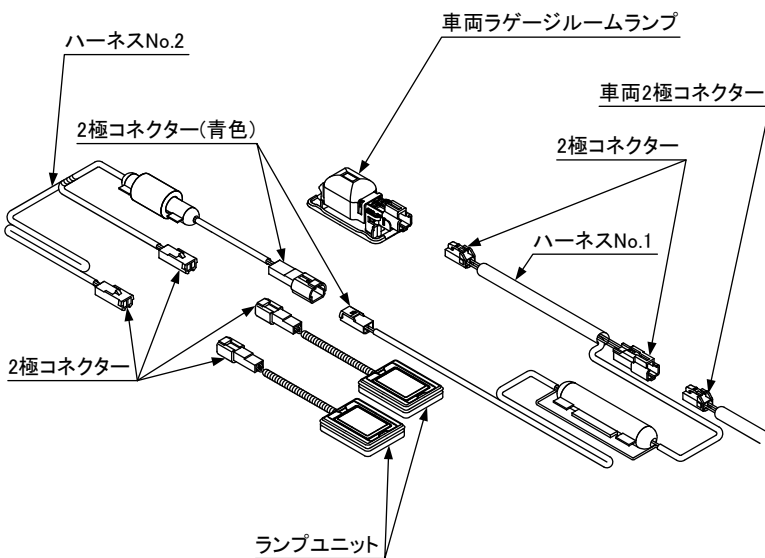
1. バッテリーの(-)端子をはずす。
2. 車両ラゲージルームランプを取りはずす。

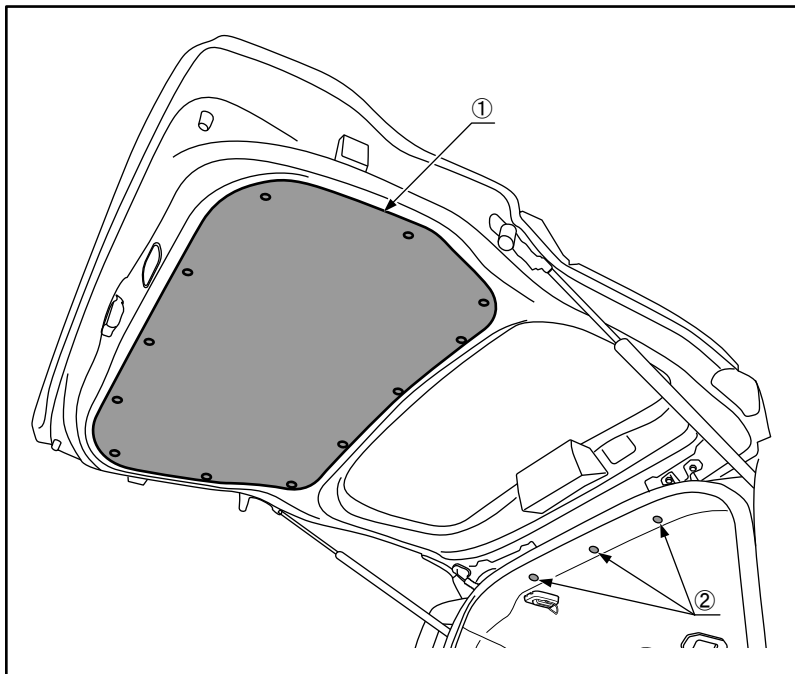
⚠注意

- ・必ず製品を安定した場所に置いて作業を行ってください。
- ・ランプユニットの表面に傷を付けないように注意してください。

3. 左図のように接続する。
4. バッテリーの(-)端子を取り付け、運転席のドアを一度開閉する。
5. 正常に点灯することを確認する。
6. バッテリーの(-)端子を取りはずし、各コネクタをはずし、製品を一度取りはずす。

7. 点灯することを確認したら、ハーネスNo.1のヒューズケース(管ヒューズ:1A)とハーネス(GND[黒])に左図のようにビニールテープを巻く。





●製品の取り付け

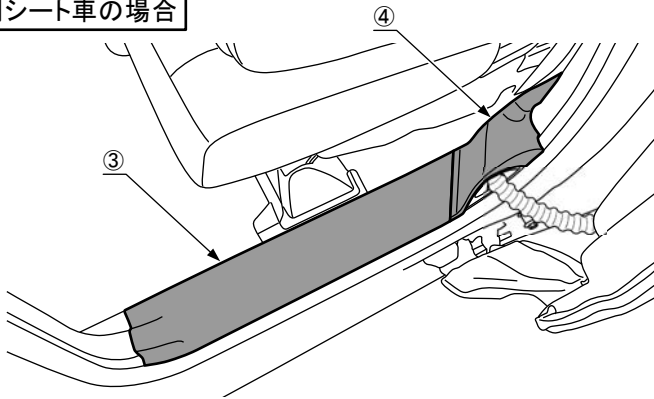
⚠️アドバイス

各車両部品の脱着は、車両修理書を参照してください。

1. 左図①～②の車両部品を取りはずす。

車両の仕様を確認し、3列シート車は5ページ、2列シート車は6ページ、ウェルキャブ車は7ページの作業を行ってください。

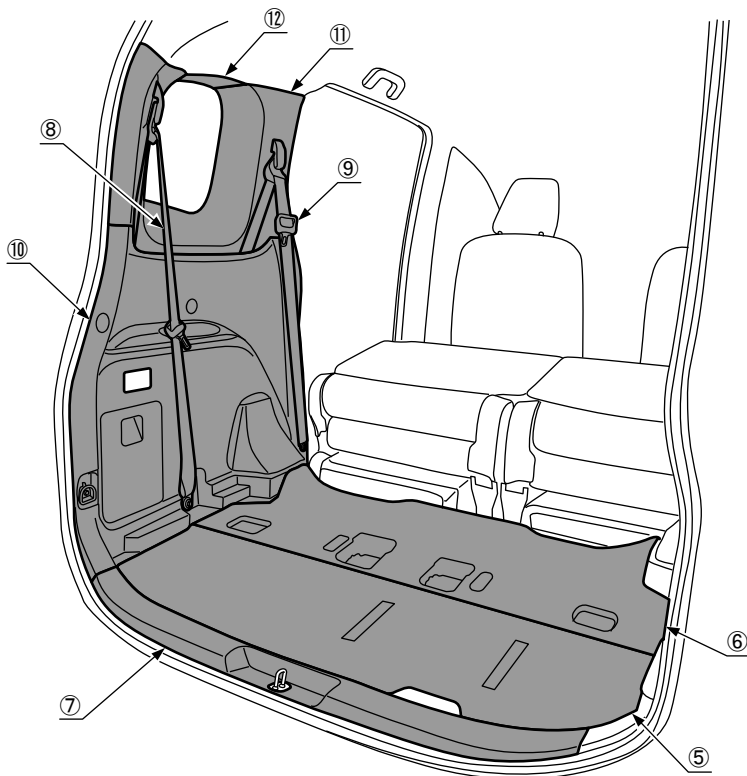
3列シート車の場合



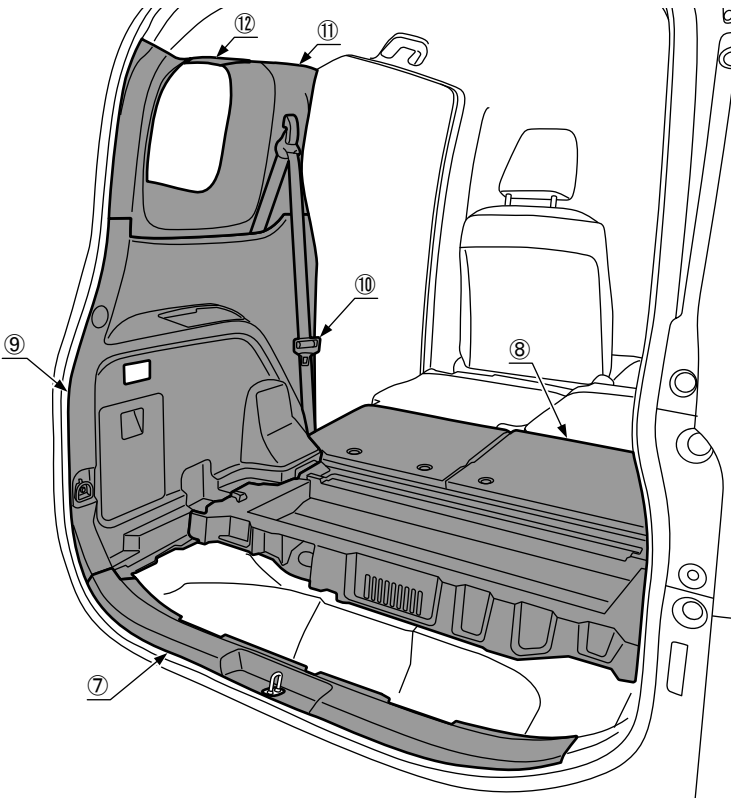
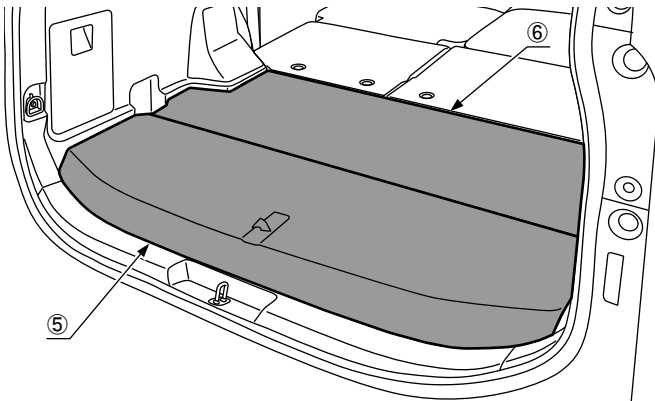
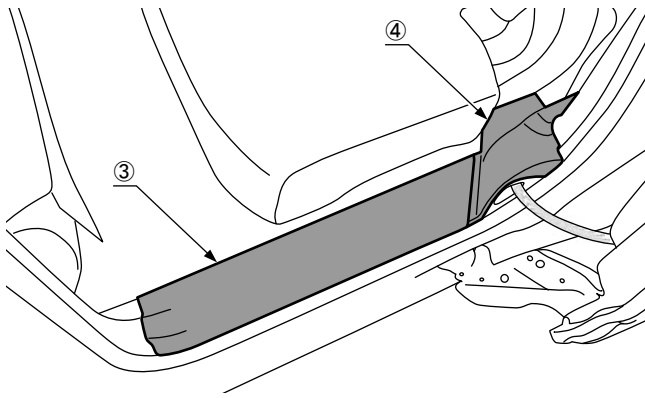
2. 左図③～⑫の車両部品を取りはずす。

⚠️注意

シートベルト固定ボルト復元の際、 $T=42.0N\cdot m$ にて締め付けてください。



2列シート車の場合

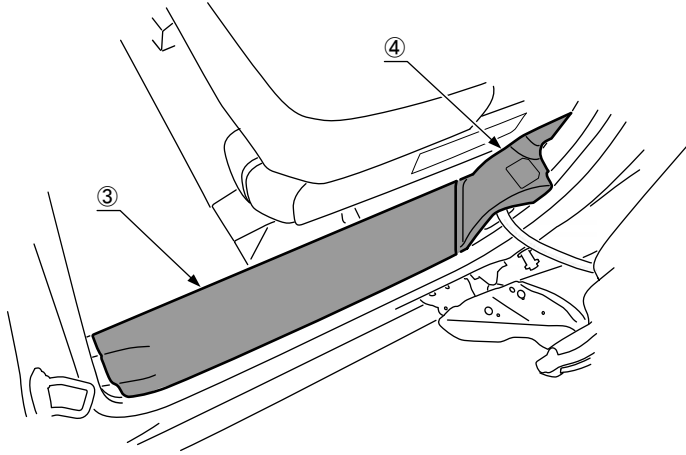


2. 左図③～⑫の車両部品を取りはずす。

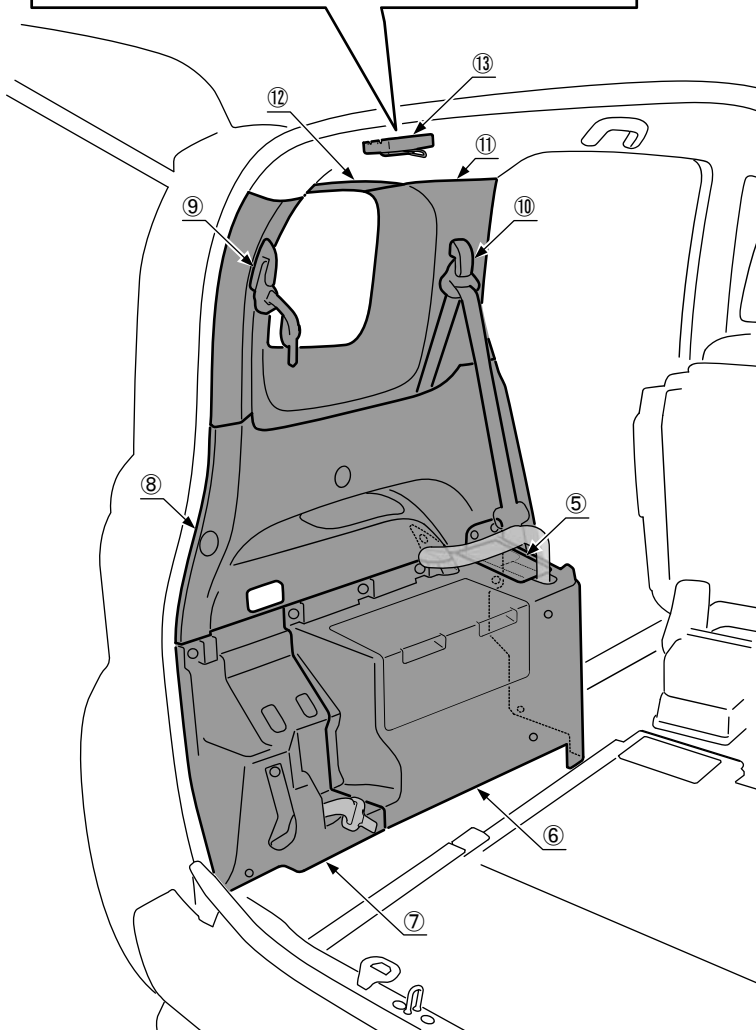
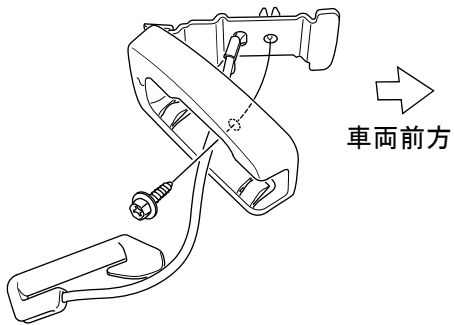
⚠ 注意

シートベルト固定ボルト復元の際、 $T=42.0N\cdot m$ にて締め付けてください。

ウェルキャブ車の場合



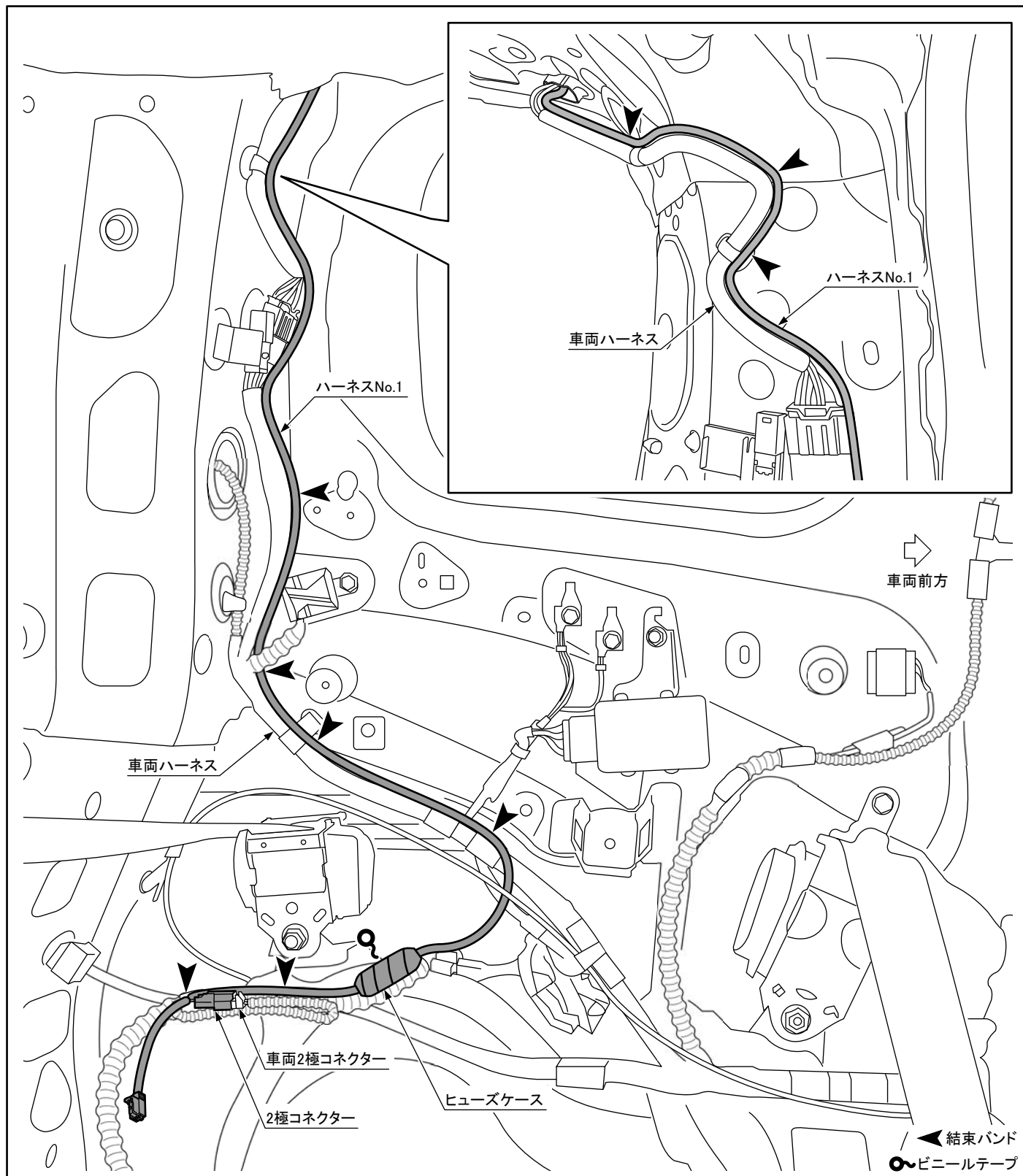
⑬取りはずし詳細図



2. 左図③～⑬の車両部品を取りはずす。

⚠注意

シートベルト固定ボルト復元の際、 $T=42.0N\cdot m$ にて締め付けてください。



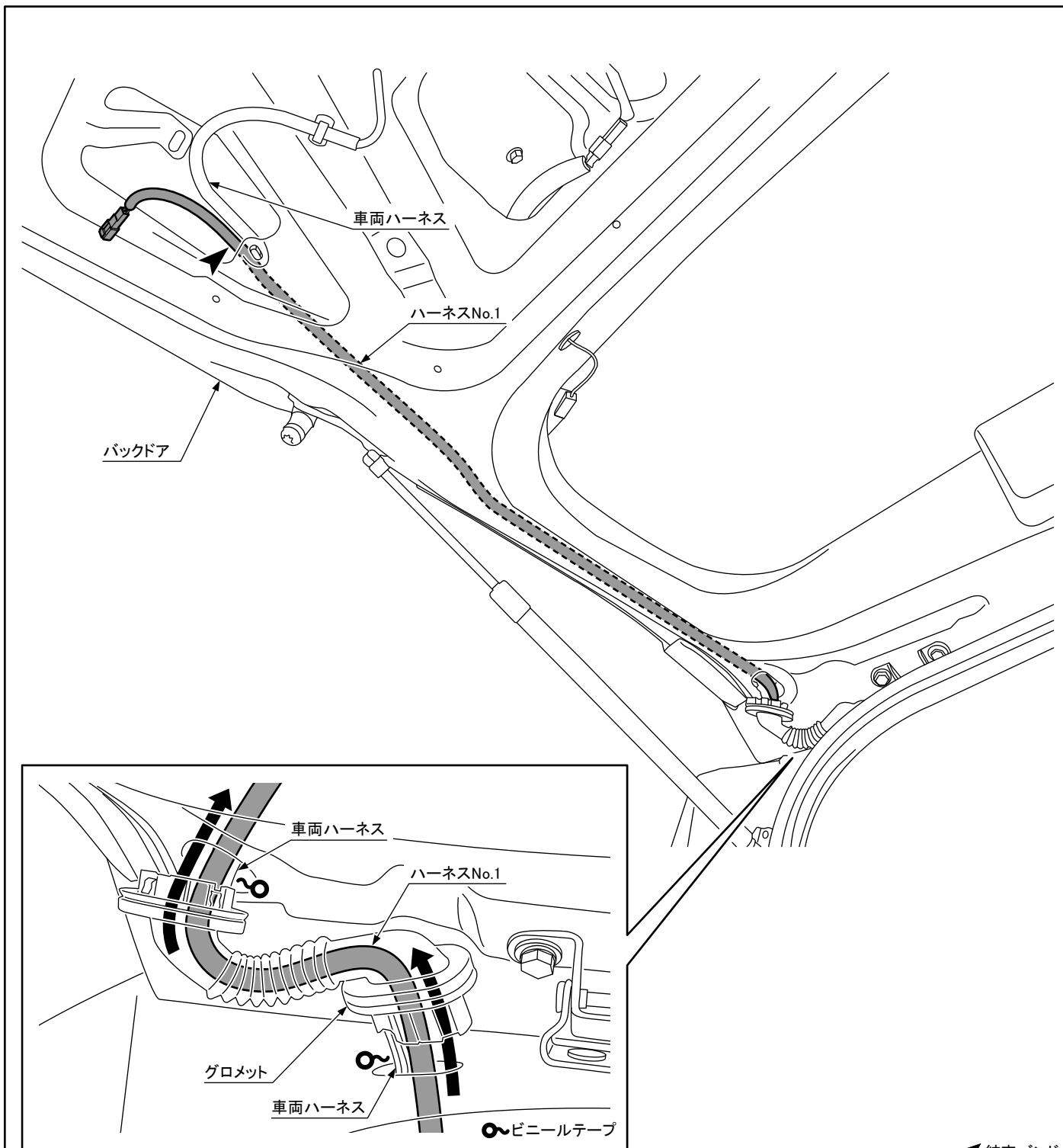
3. 車両ラゲージルームランプに接続されていた車両2極コネクターに、ハーネスNo.1の2極コネクターを接続する。
4. ハーネスNo.1、接続した2極コネクター及びヒューズケース(管ヒューズ:1A)を上図のように配線し、◀位置(9ヶ所)で結束バンドにて車両ハーネスに固定する。
5. ハーネスNo.1のヒューズケース(管ヒューズ:1A)を上図の位置に配線し、●位置(1ヶ所)でビニールテープにて車両ハーネスに固定する。

⚠ 注意

配線する際、ルーフヘッドライニングを無理にめくらないようにしてください。シワが発生する可能性があります。

🔧 アドバイス

上図は3列シート車を示していますが、2列シート車、ウェルキャブ車も同様に作業を行ってください。



◀ 結束バンド

🔧 アドバイス

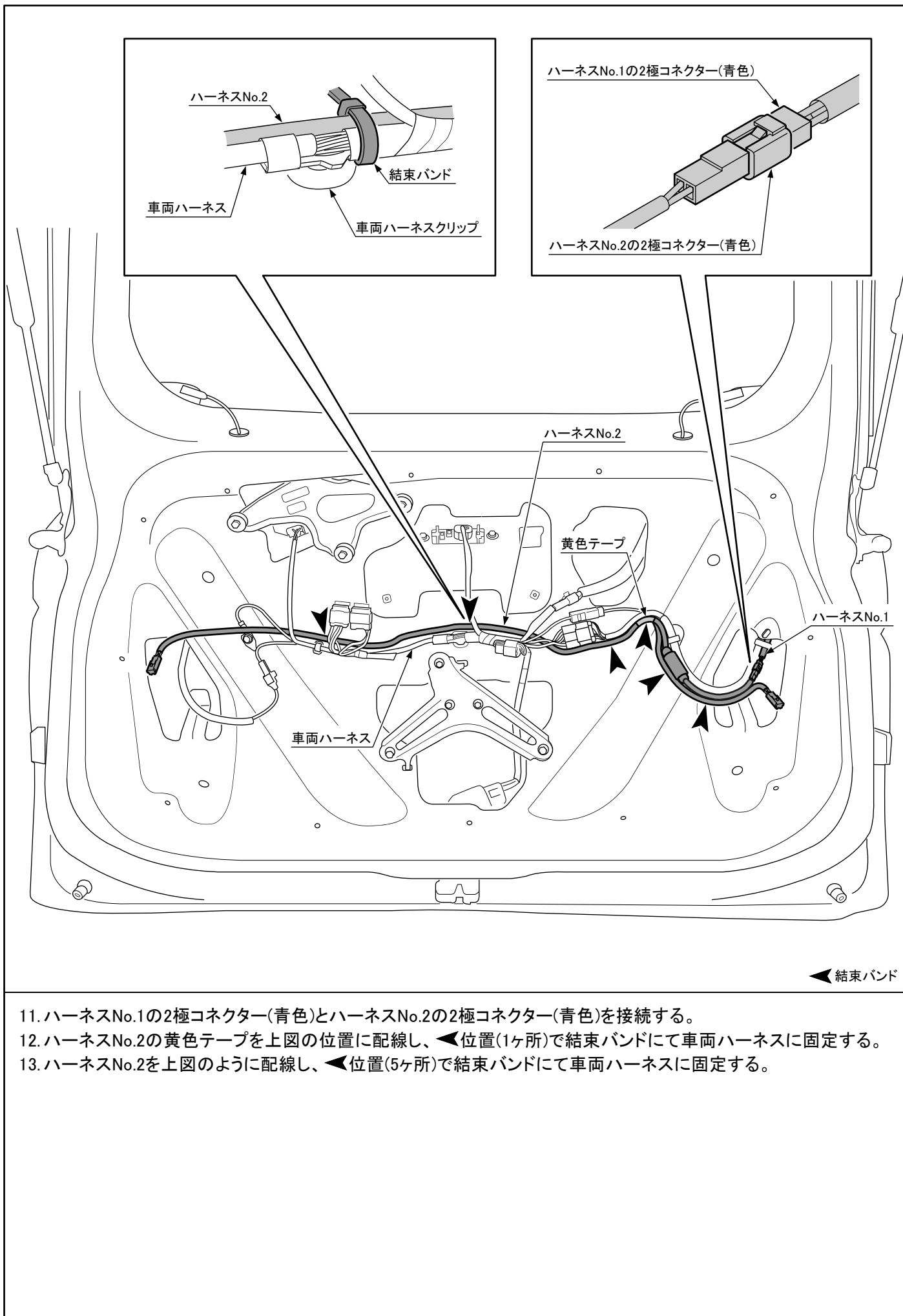
- ・ 車両部品の脱着は、車両修理書を参照してください。
- ・ ハーネスNo.1が配線しにくい場合は、配線通し等を使用してください。

6. グロメットをはずし、ハーネスNo.1をグロメットに通し、バックドア内へ配線する。
7. ハーネスNo.1を上図のようにバックドア内部を通し配線する。

⚠ 注意

- ・ 配線する際、ルーフヘッドライニングを無理にめくらないようにしてください。シワが発生する可能性があります。
- ・ ハーネスNo.1をグロメットに通す際、無理に配線を引っ張らないようにしてください。

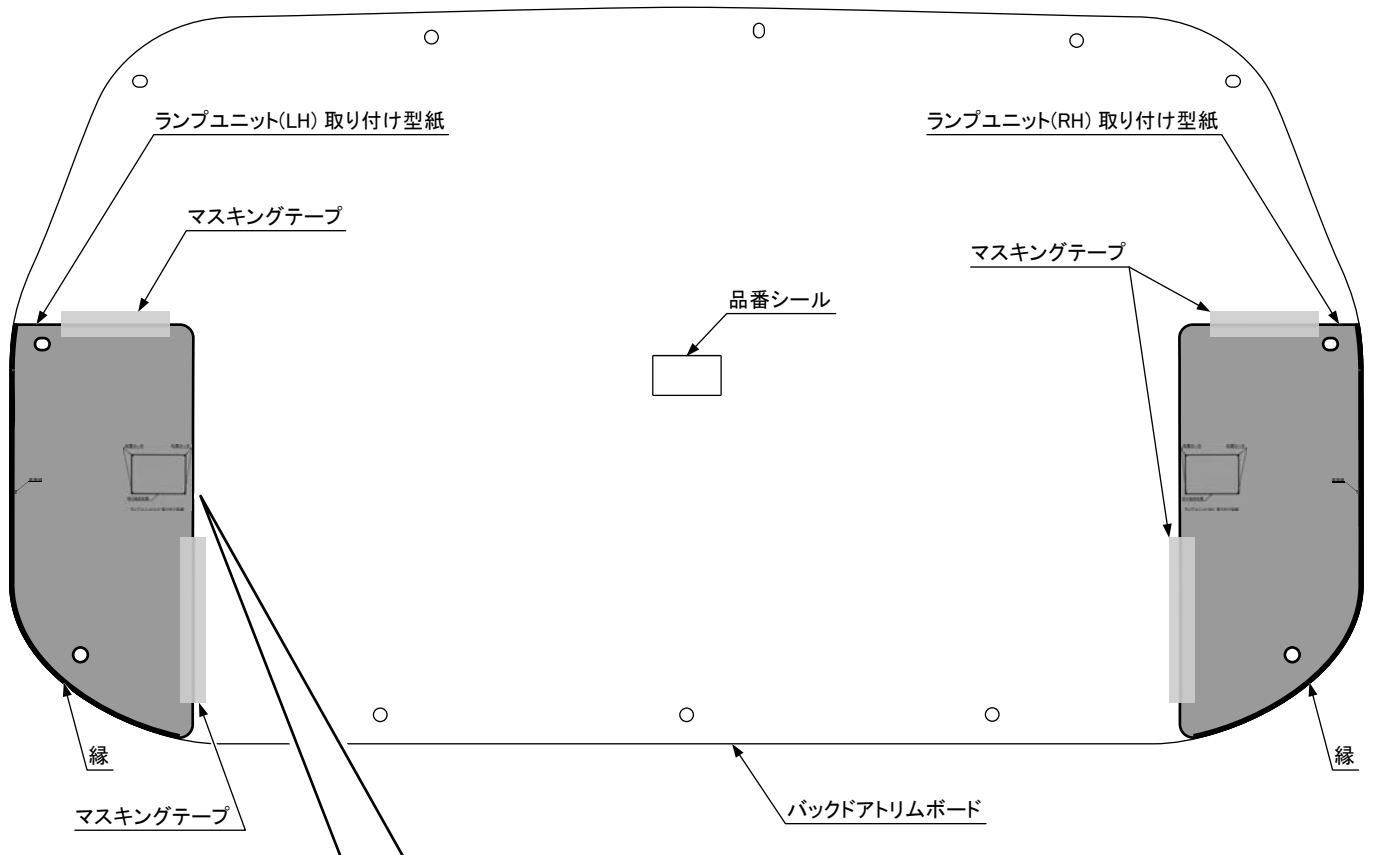
8. ハーネスNo.1を○位置(2ヶ所)でビニールテープにて車両ハーネスに固定する。
9. グロメットを復元する。
10. ハーネスNo.1を上図のように配線し、△位置(1ヶ所)で結束バンドにて車両ハーネスに固定する。



11. ハーネスNo.1の2極コネクタ-青色とハーネスNo.2の2極コネクタ-青色を接続する。
12. ハーネスNo.2の黄色テープを上図の位置に配線し、◀位置(1ヶ所)で結束バンドにて車両ハーネスに固定する。
13. ハーネスNo.2を上図のように配線し、◀位置(5ヶ所)で結束バンドにて車両ハーネスに固定する。

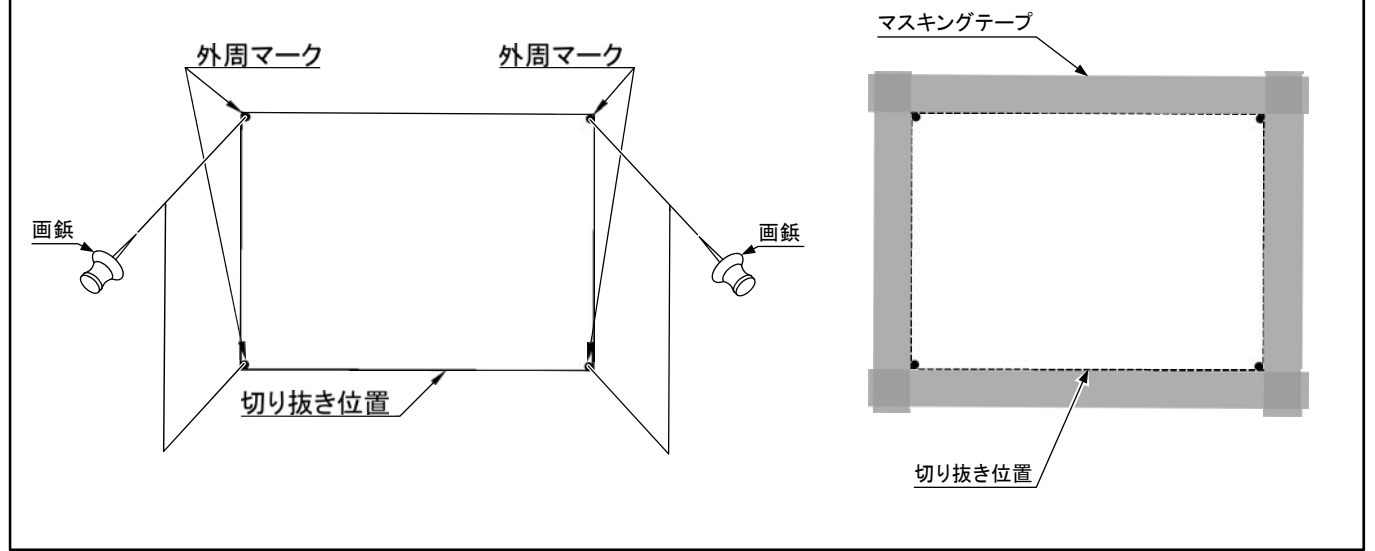
バックドアトリムボード裏側

2.



3.

4.

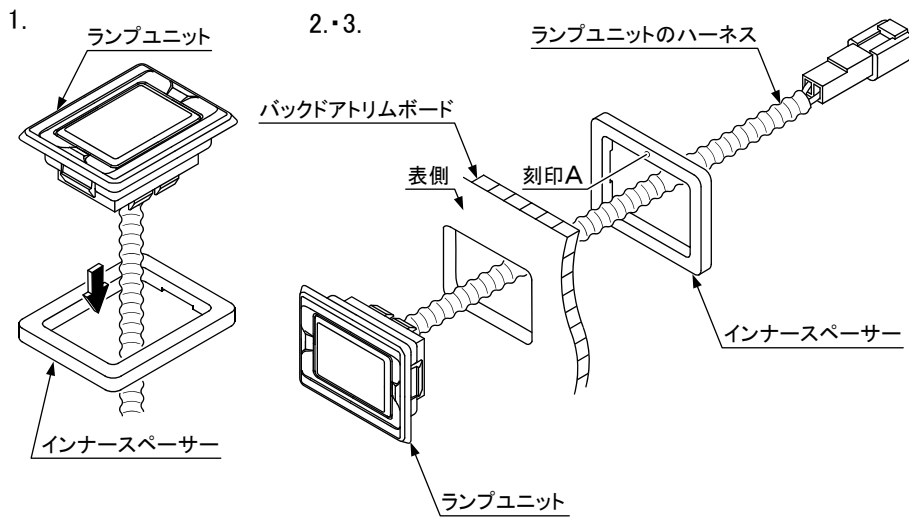


●切り抜き作業

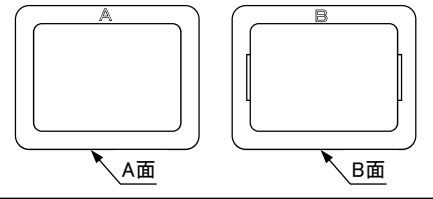
1. 別紙の型紙を切り取る。
2. 型紙をバックドアトリムボードの縁に合わせてマスキングテープで固定する。
3. 型紙の切り抜き位置を確認し、外周マーク(4ヶ所)を画鋏にて穴をあける。
4. 型紙を剥がし、穴をあけた外周マーク(4ヶ所)を基準に切り抜き位置にマスキングテープを貼り付け、マスキングテープの内側を目安に切り抜く。

🔊アドバイス

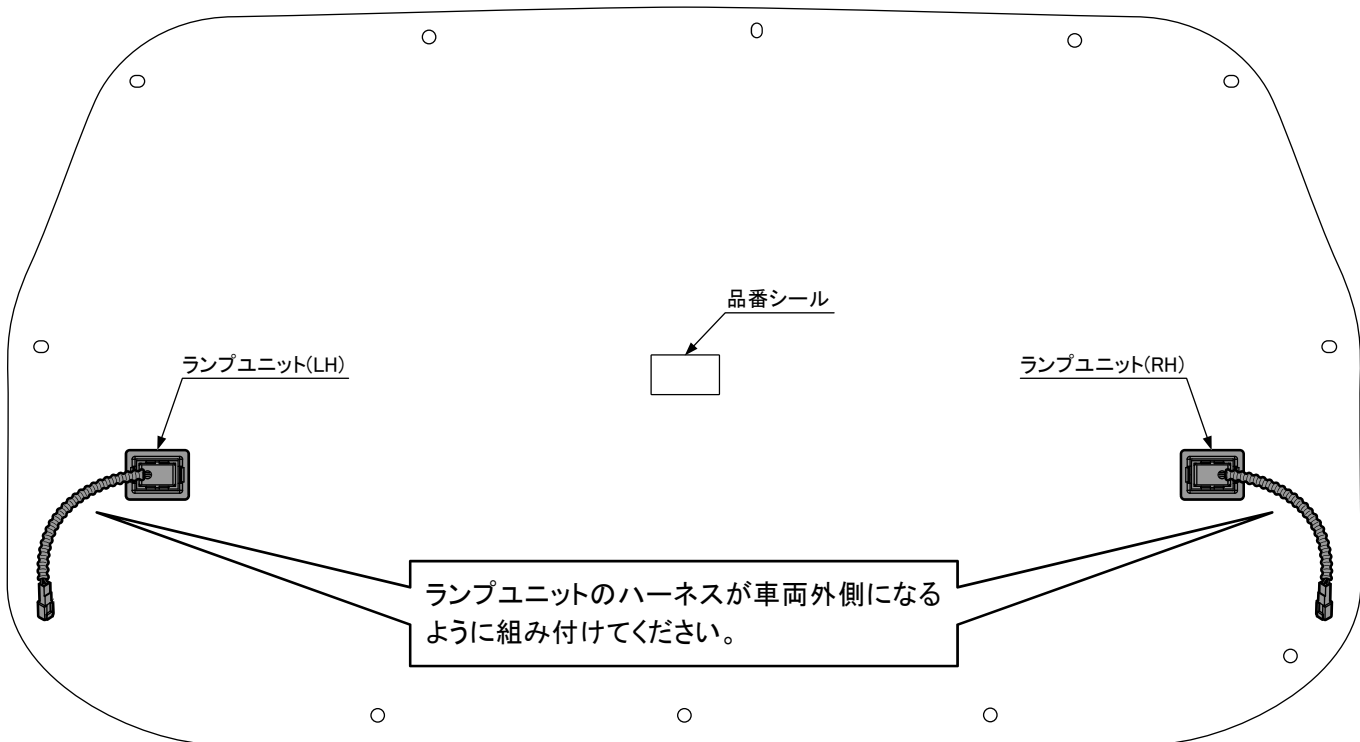
上図はランプユニット(LH)側を示していますが、ランプユニット(RH)側も同様に作業を行ってください。



インナーSpacerはA面とB面があります。刻印を確認し、必ずA面がバックドアトリムボード側になるように組み付けてください



バックドアトリムボード裏側



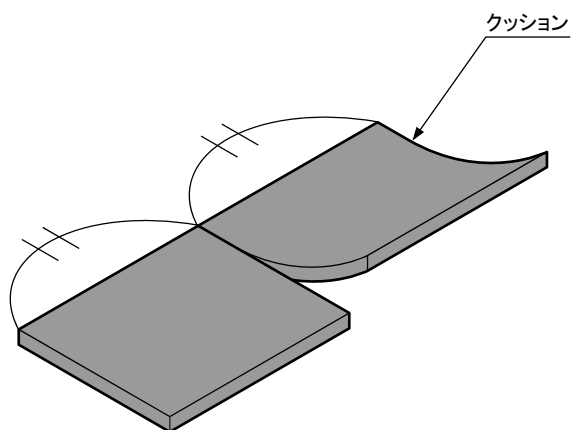
●ランプユニットの取り付け(RH)(LH)

1. ランプユニットからインナーSpacerを取りはずす。
2. バックドアトリムボード表側からランプユニットを組み付ける。

♪アドバイス

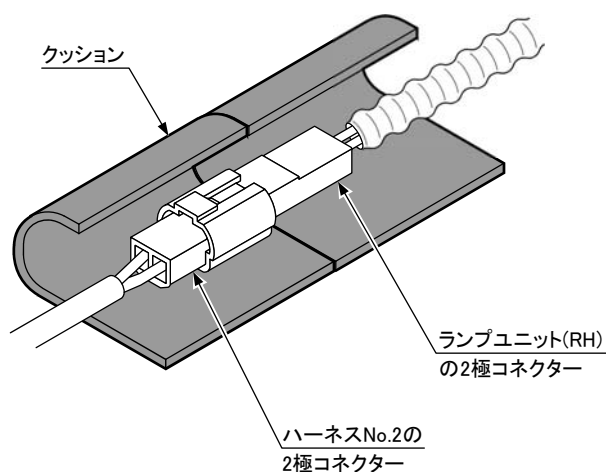
ランプユニットのハーネスが車両外側になるように組み付けてください。

3. バックドアトリムボード裏側からインナーSpacerのA面がバックドアトリムボード側になるようにランプユニットを固定する。



●ランプユニットの接続(RH)(LH)

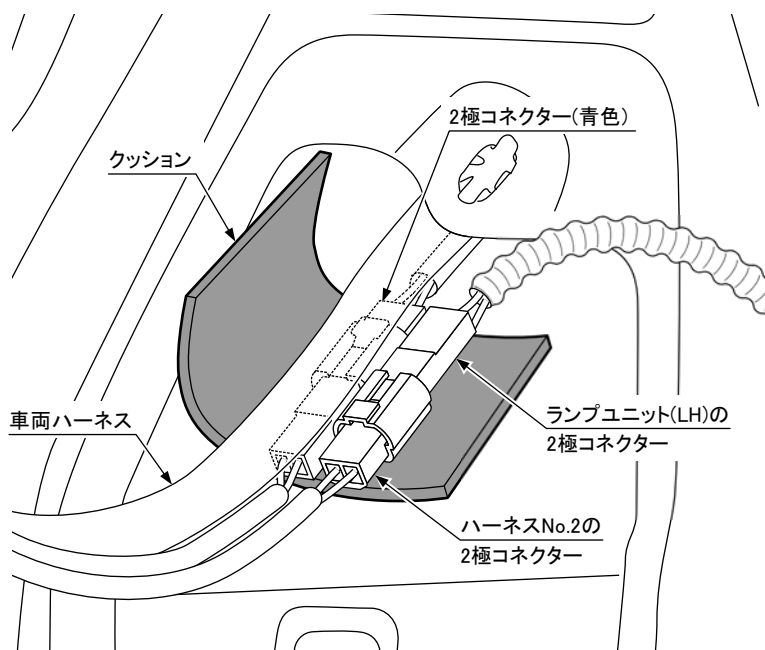
1. クッション(2枚中1枚)を左図のように半分にカットする。



☞アドバイス

コネクタが接続しにくい場合は、バックドアを下げて作業を行ってください。

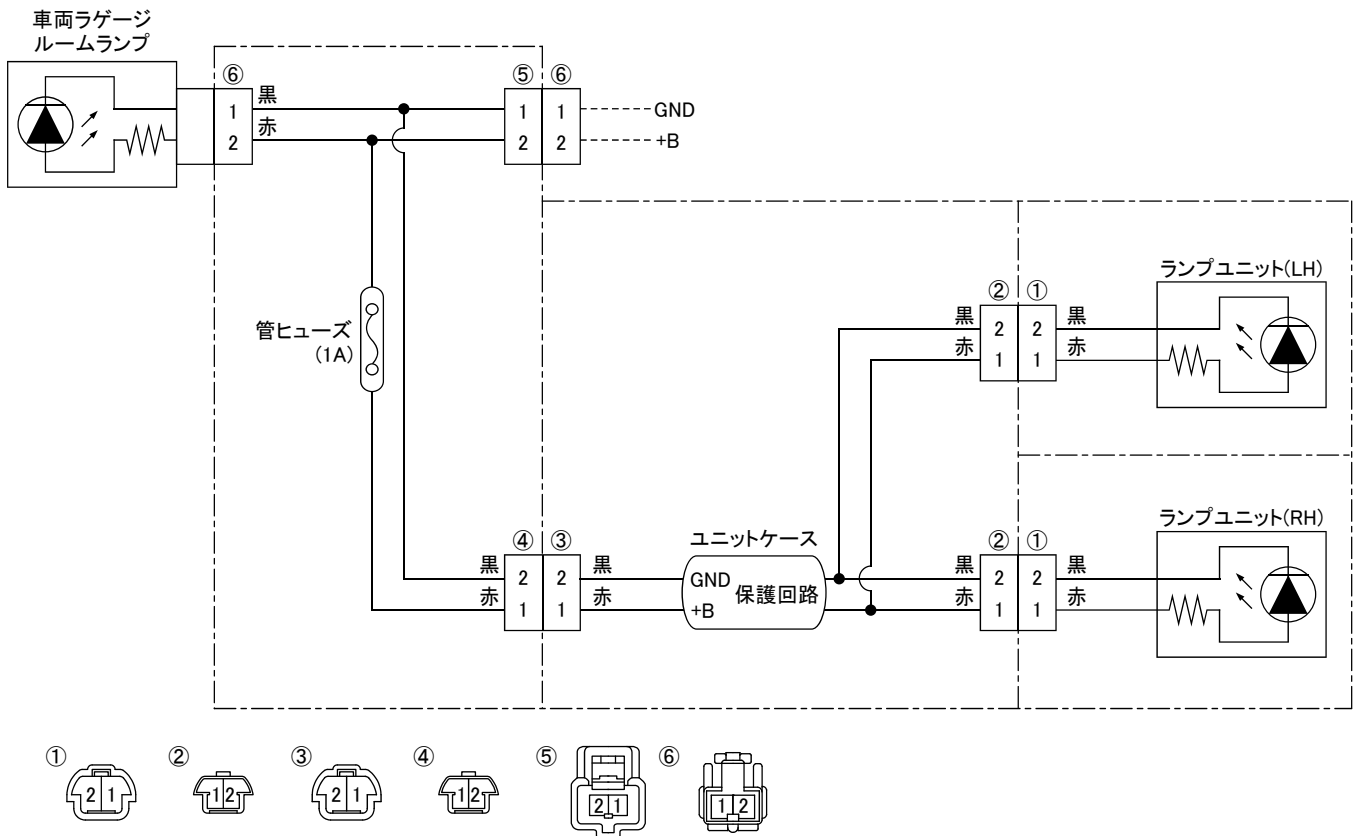
2. ランプユニット(RH)の2極コネクタとハーネスNo.2の2極コネクタを接続し、左図のように1.にてカットしたクッションを巻く。



3. ランプユニット(LH)の2極コネクタとハーネスNo.2の2極コネクタを接続する。
4. 3.で接続した2極コネクタを製品の取り付け11.にて接続した2極コネクタ(青色)と共にクッションで車両ハーネスに固定する。

配線図

車両ハーネス ----- 用品ハーネス ——



※ 上記コネクタ略図は、コネクタ接続側を示しております。

作動確認

■ バックドアを開けると点灯し、バックドアを閉めると消灯する。

復元作業

■ 車両部品の復元

「作動確認」完了後、取りはずした部品を元通りに取り付けてください。ただし、下記の点に注意して作業を行ってください。

- ・ 復元作業に伴うハーネス(車両側及び用品側)のかみ込み。
- ・ 車両部品の損傷。

■ バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

ご使用上の注意

- ラゲージLED本体を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけないでください。
- 防水製品ではありませんので、製品へ水がかかるような使用条件で使用しないでください。
- 常に動作しない場合、高温発熱などの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して販売店へ相談してください。
- 製品の分解、改造は絶対に行わないでください。
- バックドアトリムを取りはずす際は、ハーネスの断線や破損などに注意してください。
- バックドアを閉める際は、荷物とラゲージLED本体が干渉しないように注意してください。
- 走行中に荷物が後方にずれるなど、荷物とラゲージLED本体が干渉しないように注意してください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント <https://www.modellista.co.jp>

「お問合せ先」モデリスタコールセンター TEL 050-3161-1000